

要 点 録

会 議 の 名 称	五常小学校学校運営協議会
開 催 日 時	令和5年7月6日(木) 午前9時30分から午前11時30分まで
出 席 者	学校運営協議会 会長(窪田 哲也) 副会長(中川友加奈) 宮川 満、仲 真由美、森川 琴美 事務局:校長
欠 席 者	なし(半数以上の出席なので会議成立)
案 件 名	1 校内視察(全学年・クラス) 2 会議開始の言葉(初回のみ学校長) 3 会長の互選 副会長の指名 4 学校運営協議会委員の自己紹介 5 【今年度の経営方針】の承認 6 学校の現状についてのご報告 7 その他 意見・情報交換 8 事務局(学校)より連絡事項 9 閉会の言葉
提出された資料等の名称	資料① …枚方市におけるコミュニティ・スクール 資料② …令和5年度 経営方針説明資料 資料③ …学校からのご報告事項
会 議 内 容	
<p>1、開会のことば(校長より)</p> <p>2、互選により会長を、会長指名により副会長を選出 会長(窪田 哲也氏) 副会長(中川友加奈氏) ※今後は、会長窪田 哲也氏に会議の進行等をしていただく。</p> <p>3、学校運営協議会委員の自己紹介</p> <p>4、今年度の学校運営について(校長より) ・枚方市のコミュニティ・スクールの現状について ・今年度の学校運営について(昨年度3月に承認されたことを報告) ・学校の現状についてのご報告</p> <p>○学校運営協議会委員からの主な意見・質問 ・(教室視察して)学校は高所作業を原則禁止したが、児童の目線を考えると、掲示物の高さは適切である。 ・「支援学級の運営の改善」の中で、支援担任、通常学級担任の意識改革とあるがどういうことか? 枚方市のめざす支援教育のあり方は、世界の標準とは言えない。 ⇒国の方針や枚方市以外の他の自治体が行っている標準的な支援教育である、個別の児童にとってベストの教育をめざします。そのめざすところ(障害の有無にかかわらず通常の学級とともに学ぶ=ともに学び、ともに育つ)は、世界標準と変わりないと考えています。(基礎的環境整備、合理的な配慮)それを踏まえて、支援学級における自立支援や特別な教育課程の編成等により、個別の児童にとってベストの教育を行います。 教職員の意識改革について、支援担任がリードして教育を行うことを教職員、保護者の共通認識とします。</p>	

・運動会の臨時入校証のあり方(シール方式)は見直すのか? 去年は剥がれて地面に落ちていた。

⇒確認して報告します。

・Flags(五常小内居場所事業)のセキュリティ面について、従事者が名札を付けずにくることがある。先には18歳くらいまでの子どもが参加するということだが、そのくらいの年齢の子どもがふらっと来るようなことは避けたほうがよい。また、保護者が学校の門まで児童を送るほうが良い。

⇒従事者の名札は既に交付してあるので、着用を徹底します。(外部の)子どもの入室は保護者了解のもと登録制にして身分を確認できるようにする予定です。児童の来室(登校)については、原則保護者に送ってもらうようにいたします。

6. 今後の予定

第2回のスケジュールは事務局が調整し、会長が招集する。(11月を予定)

7. 閉式のことは

※提出した資料をデータで教育指導担当まで送付ください。